

「働く」ってこんなこと

自分なりの夢の実現

人間関係形成・社会形成能力

活動例 小学2年生 生活：町たんけんに出かけよう

自己理解・自己管理能力

活動例 小学6年生 学活：小学生に携帯電話は必要か

課題対応能力

活動例 小学4年生 総合：「環境問題」を調べる計画を立てよう

キャリアプランニング能力

活動例 中学2年生 学活：自分の将来をシミュレーションしよう

「キャリア教育」とは
キャリア教育は、一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基礎となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育と定義されます。
キャリア教育の必要性が叫ばれている今、職場体験活動もその一環として位置づけられています。キャリア教育は、左図のような四つの能力の育成を旨とし、小学校から行われます。

まだ子どもだと思ってる自分も、あと数年で働くということをもまだ実感していません。もう少し職業について知りたいです。
(幼稚園で職場体験)

担当の方が「今しかできないことをたくさんやれ。」とおっしゃったことに感動しました。
(スポーツトレーニングセンターで職場体験)

あいさつや「おだいじにしてください。」などの言葉は、患者さんを少しでも楽にできると聞き、言葉の一つ一つの大切さ、重さを感じました。
(病院で職場体験)

ほかにもこんな声か

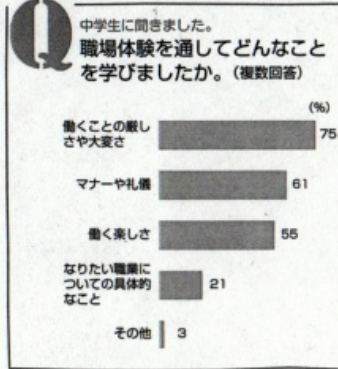
中学校では、子どもたちの職業観をはぐくみ、進路を考えるための手だてとして「職場体験活動」が行われています。活動先は、必ずしも自分が考えている職種と一致しているわけはありません。しかし、数日間の体験から子どもたちはさまざまなことを学ぶことができます。
どんなことを学んだのかを聞くと、多くの子どもが「働くことの厳しさ、大変さ」と答えています。ある中学生は、「自分が思っていた以上にすごく大変で、親はいつもこんなことをやっているんだな」と思った。だから感謝しなければと思った。」と答えています。



PART 3

職場体験から学んだこと

各中学校で行われている「職場体験活動」は、子どもたちに何を残したのでしょうか。



職場体験を終えて...

マナーや礼儀を学んだ
(洋菓子店で職場体験)
あいさつはもちろん、お客さんと話すときは笑顔を忘れずにというのが、接客の基本だと学びました。

厳しさや大変さを学んだ
(飲食店で職場体験)
血洗いをしているときに、「水を出しすぎ」と怒られてしまいました。最初は「これくらいいいじゃないか。」と思ったけれど、後になって考えてみると、こういうことからコソコソとすればコストを減らせるし、環境にもよくできるんだなあと思いました。

なりたい職業を学んだ
(幼稚園で職場体験)
初めはとまどいがあって、自分から子どもへということができなかったけど、本を読んであげたり接したりしていく中でさすがが深まりました、とてもよい経験になりました。

楽しさを学んだ
(小学校で職場体験)
「働いた」というよりは、楽しんだ感じがしました。ぼくが知らないような大変なことたくさんあると思いますが、この仕事に対する関心が高まりました。疲れたけど、がんばったあとの疲れはすがすがしい感じがしました。